

料金後納
郵便

BANDO DOING MORE on the new frontier

株主の皆様へ **バンドー化学株式会社**

平成21年3月期 第3四半期（連結）

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
事務取扱場所 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
☎0120-094-777（通話料無料）

返送先 〒540-8694 大阪東支店私書箱第455号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

まずこちらを

開く 濡れている場合は乾かしてから
はがしてください

■ 配当状況

	1株当たり配当金（円） （うち記念配当）					配当金総額 （年間） （百万円）	配当性向 （連結） （%）	純資産 配当率 （連結） （%）
	第1 四半期末	中間期末	第3 四半期末	期末	年間			
2009年3月	- (-)	5.00 (-)	- (-)	2.00 (予想)	7.00 (予想)	/	/	/
2008年3月	-	5.00	-	5.00	10.00	1,003	19.0	2.3
2007年3月	-	4.00	-	6.00	10.00	1,012	25.4	2.5

■ 会社概要

社名 バンドー化学株式会社
Bando Chemical Industries, Ltd.
創業 1906年（明治39年）4月14日
設立 1937年（昭和12年）1月7日
本店 神戸市兵庫区明和通3丁目2番15号
本社事務所 神戸市中央区港島南町4丁目6番6号
TEL (078) 304-2923
従業員数 1,346名（平成20年9月30日現在）
ホームページアドレス <http://www.bando.co.jp>

■ 事業所

東京支店、名古屋支店、大阪支店
加古川工場、南海工場（大阪府泉南市）、和歌山工場、神戸工場、足利工場
生産技術センター（神戸市）、R&Dセンター（神戸市）、伝動技術研究所（和歌山県）

BANDO

<http://www.bando.co.jp>

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金 受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金 受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目1番5号 TEL（通話料無料）0120-094-777
公告掲載新聞	日本経済新聞・神戸新聞
上場取引所	東京（第1部）・大阪（第1部）

〈ご注意〉

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

本データの記載内容は、平成21年3月期第3四半期決算短信に基づき作成しております。
なお、その後に公表される可能性がある訂正情報や業績予想の修正情報については、本データの記載内容には反映されません。



バンドー化学はチーム・マイナス6%に参加しています

株主の皆様へ

2009年2月
バンドー化学株式会社

平成21年3月期第3四半期（連結）の概況をお届けいたします。

当社グループは、米国発の金融危機に伴う世界的な実体経済の後退によって、当社グループの主力市場である自動車市場や電子写真出力機器市場における大幅な在庫調整と生産調整・減産の影響を、直接的に受けております。また、近時の急激な円高等も含め、当社グループを取り巻く市場環境は、予想を上回る勢いで厳しさを増しております。

この結果、当社グループの第3四半期（連結）の業績は、次頁（右記）以降のとおり、大幅な減収減益となりました。

平成21年3月期の通期業績予想については、再度、下方修正をさせていただくとともに、期末配当予想についても、誠に遺憾ではございますが、1株当たり5円（中間配当とあわせて年間10円）から1株当たり2円（中間配当とあわせて年間7円）に修正させていただきました。また、経営責任を明確にするとともに、業務執行責任に関する強い再認識を促すべく、役員の月次報酬と基幹職（管理職）の月次給与の減額を決定し、先月より実施いたしました。

大変厳しい経営環境の中、当社グループは、グループ全体で総原価の低減活動を推進し、また、強い決意をもって事業構造の改革と再構築に取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長
小林 敏夫



代表取締役社長
原 和義

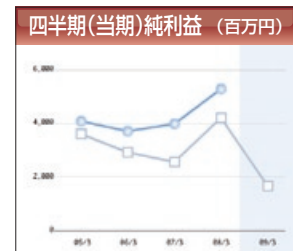
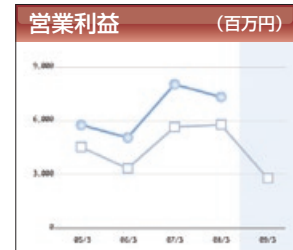
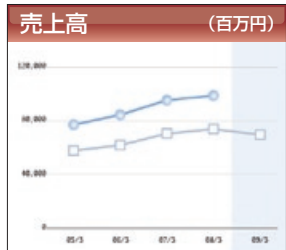
平成21年3月期第3四半期（連結）の概況

（詳細につきましては、当社ホームページ「株主・投資家の皆様へ」掲載の「平成21年3月期第3四半期決算短信」をご覧ください。）

■ 経営成績



● 通期 □ 第3四半期



郵便はがき

■ 事業のセグメント別売上高の状況



【ベルト・工業用品部門】
補機駆動用ベルト、補機駆動用システム製品、電子写真出力機器関連製品などが減少。バイク用変速ベルト、省エネ環境を考慮したVベルト（省エネパワーエース）は伸長。



【化成品部門】
建築資材用フィルム、装飾表示用の粘着加工製品が減少。医療用フィルムなどは増加。



【その他の部門】
主として機械設備の製造・販売。前年同期比微減。

■ 平成21年3月期（通期）の連結の業績予想

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

平成20年12月24日に公表した平成21年3月期通期業績予想（連結・単体）を修正いたしました。詳細については、当社ホームページ掲載の平成21年2月5日付「平成21年3月期通期業績予想（連結・単体）の修正、配当予想の修正、ならびに役員報酬等に関するお知らせ」をご覧ください。

(%表示は対前期増減率)

	平成20年12月24日発表数値	平成21年2月5日発表数値
売上高	90,500百万円 △4.7%	88,000百万円 △10.8%
営業利益	2,800百万円 △49.1%	1,900百万円 △74.1%
経常利益	1,800百万円 △67.3%	1,000百万円 △87.4%
当期純利益	△80百万円	△400百万円
1株当たり当期純利益	△0円80銭	△3円99銭

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。